

5

ごみとわたしたち

ならし りょう 奈良市のごみの量

奈良市について

水質の汚濁

大気汚染

地球温暖化

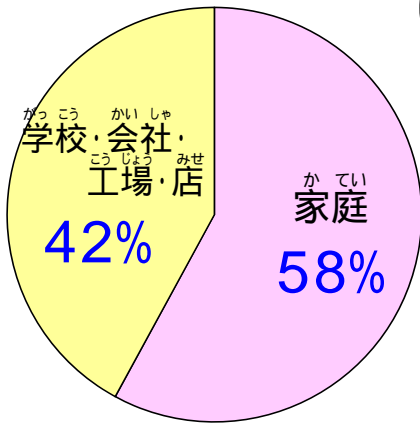
ごみとわたしたち

ならし ねんかん だ りょう
奈良市で1年間に^だ出されるごみの量
(平成22年度)

約10万5,000トン

にち だ
1日に^だ出される
ごみの量^{りょう}は
約350トン

このうち

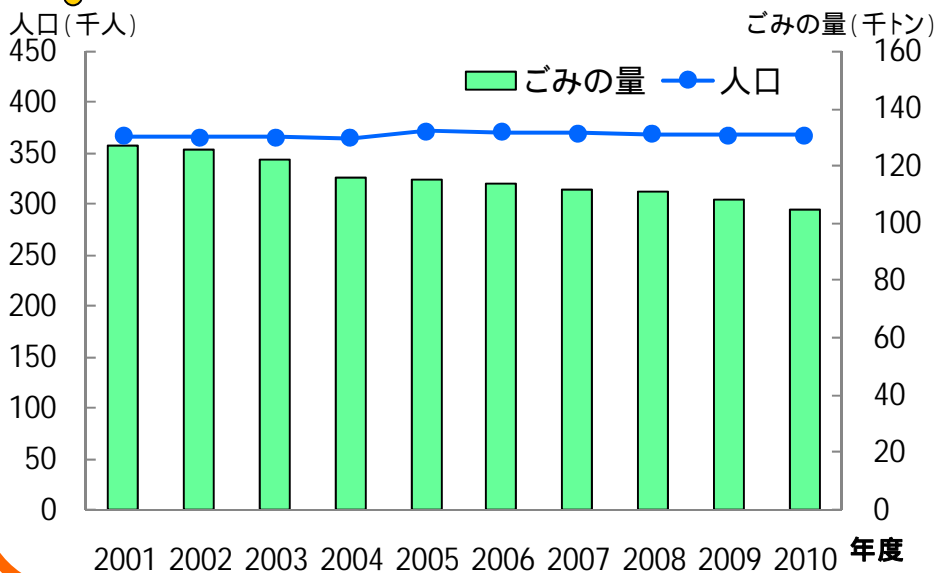


10万5,000トンとは?

(ごみの量 1^{りょう}m³あたり0.2^あトン^{かんさん}換算)
たいいくかん
体育館 (25m × 20m × 10m)
はいぶん
105杯分

約60%が家庭から出るごみ

ごみの量の変化



じんこう
人口はあまり^か変わらな
いけど、ごみの量^{りょう}は少
しずつ^{すこ}減ってるね!



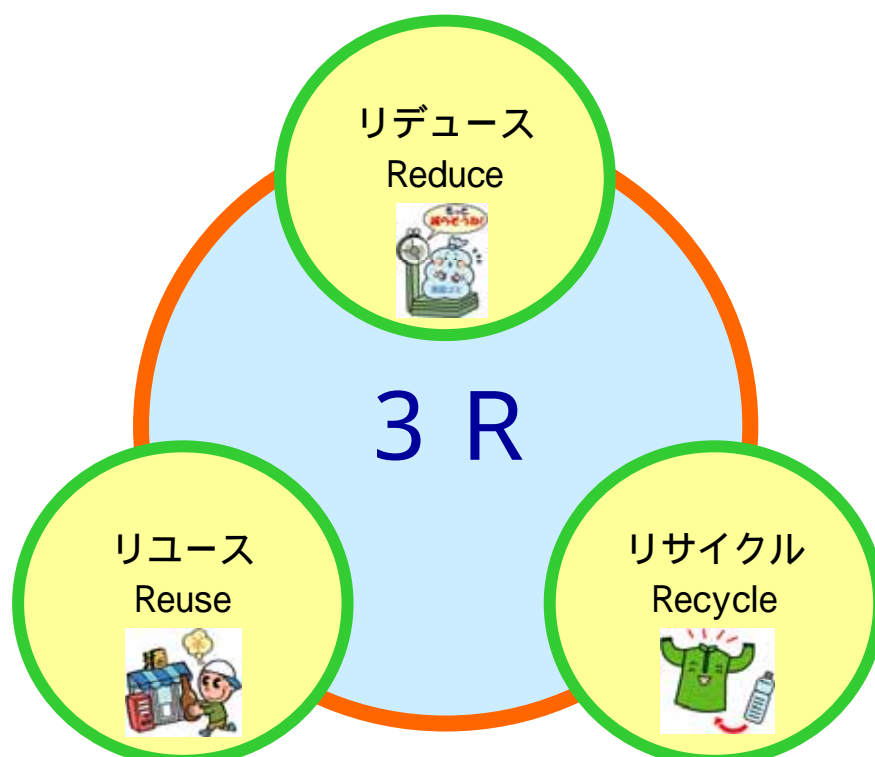
もんだい ごみの問題について

家庭から出たごみのうち、「燃やせるごみ」は焼却され、「燃やせないごみ」はうめ立てられ、ペットボトルなどの「資源ごみ」はリサイクルされます。しかし、ごみをうめ立てる場所はだんだん減っており、このままのペースでいくとうめ立てる場所がなくなってしまいます。また、ごみを燃やす場合も二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因になります。したがって、ごみの量を減らすことが求められています。

ごみを減らすためにわたしたちができること

わたしたちがごみをごみにしない生活をするためには、ごみを減らす「リデュース (Reduce)」、くり返し使う「リユース (Reuse)」、資源として再生利用する「リサイクル (Recycle)」という3つの行動が大切です。3つの頭文字が「R」なので、3R (スリーアール) と呼ばれます。

3Rの中では「リデュース」が一番重要であり、「不必要なものは買わない」、「残さずごはんを食べる」ことなどによってごみを減らすことができます。



奈良市に
ついて

水質の
汚濁

大気汚染

地球
温暖化

ごみと
わたし
たち

じゅんかんがたしやかい
循環型社会へ

奈良市について

これまで、わたしたちは大量たいりょうにもものをつくり、大量たいりょうに消費しょうひし、大量たいりょうに捨てるという生活せいかつをしてきました。しかし、資源しげんには限りかぎがあり、このまま使つかっていくとなくなってしまう、ごみばかりがたまっていきます。

水質の汚濁

このような社会しゃかいを見直し、これからは自然界しぜんかいから採取さいしゅする資源しげんをできるだけ少すくなくし、それを大切たいせつに使つかい、ごみを最小限さいしょうげんにおさえる必要ひつようがあります。そのような社会しゃかいを「循環型社会じゅんかんがたしやかい」と呼んでいきます。

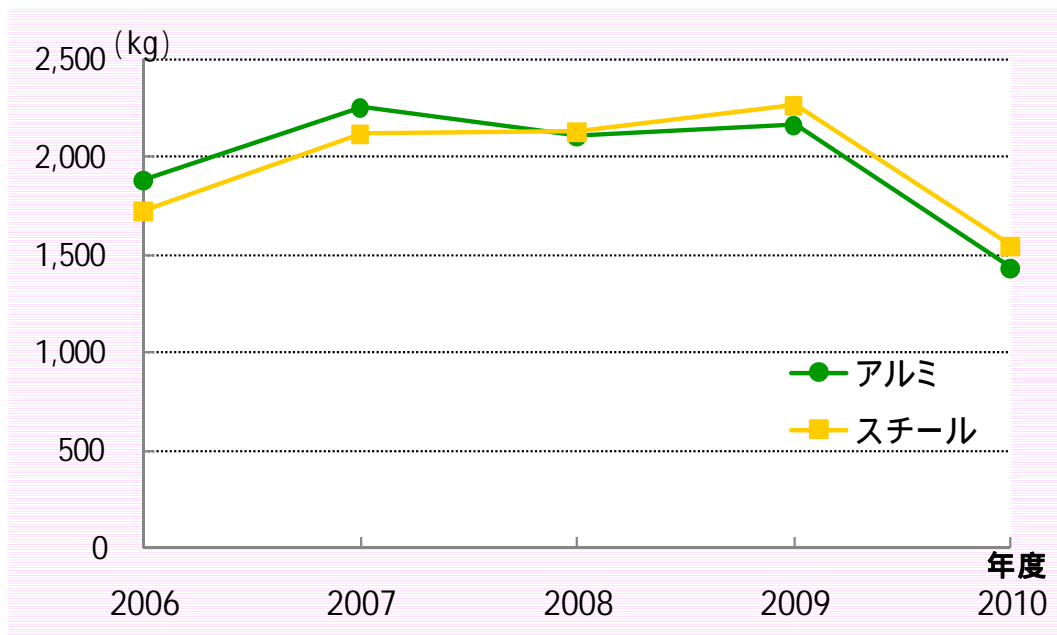
大気汚染

循環型社会じゅんかんがたしやかいをつくるためには、3Rじっせんを実践じゅうようしていくことが重要じゅうようになります。奈良市ならしではガラスびんやペットボトルなどのごみを回収かいしゅうし、再資源さいしげん化か（リサイクル）しています。また、環境教育かんきょうきょういくの一環いっかんとして市内しんないの小・中学校しょうちゅうがっこうでも児童・生徒じどうせいとが空き缶あかんもよを持ち寄り、これを市が回収かいしゅうし業者ぎょうしゃに売却ばいきやくしています。

地球温暖化

ごみとわたしたち

しょう ちゅうがっこう あ かんかいしゅうじっせき
小・中学校による空き缶回収実績



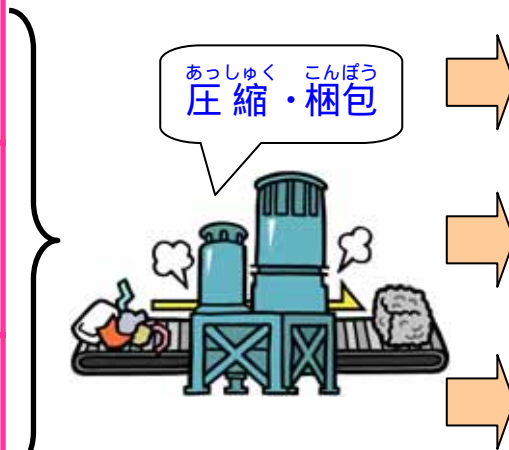
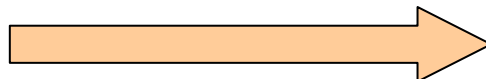
みんなも回収かいしゅうに参加さんかして、リサイクルしましよ
う！

ならし さいせいしげん
奈良市の再生資源のゆくえ



ぶん べつ
分 別

- ガラスびん
- ペットボトル
- プラスチック製 容器包装
- 空き缶 (アルミ缶・スチール缶)
- 飲料用紙パック



リ
サ
イ
ク
ル
事
業
者

- 奈良市について
- 水質の汚濁
- 大気汚染
- 地球温暖化
- ごみとわたしたち

どんなものにリサイクルされるの？



- ガラスびん → 無色、茶色びん ガラスびん
その他びん 道路の材料など
- ペットボトル → ポリエステル繊維、卵のパックなど
- プラスチック製容器包装 → パレット、再生樹脂
- 空き缶 (アルミ缶・スチール缶) → アルミ缶 アルミ製品
スチール缶 鉄製品
- 飲料用紙パック → トイレットペーパーなど